

第1学年 国語科「みぶりについて せつめいしよう」

本単元で育成したい言語能力

必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にする力

設定した言語活動

必要な情報を集めて身ぶりカルタを作る活動

視点 2 仲間とかかわりながら学ぶための工夫

手立て ペア学習の設定と学年間での交流

・カルタの読み札となる説明文を書く前に、ペアで必要な情報を収集したり、話し合ったりする活動を通して、より相手に伝わりやすい情報について考え、自分で決定することができるようにした。

・モデルビデオを活用することで、児童が交流のポイントを正しく理解できるようにした。なるべく多くの情報を集めたり、集めた情報にアドバイスをしたりと、よりよい説明文にするために必要な情報をペアで考え話し合う姿が見られた。



視点 3 学びを深めるための工夫

手立て カルタ作りの活動

・絵札と読み札の情報が対応しているカルタの特性を生かし、身ぶりの写真を「絵札」、説明文を「読み札」としてカルタを作ることによって、絵と文が対応するために必要な情報を考えることができるようにした。

・カルタ作りの活動を通して、絵札に使用した身ぶりの挿絵に「必要な事柄」を意識し、集めた情報の中から、相手に伝わりやすいぴったりの情報を決める姿が見られた。



指導講評

- 学習のつながりを意識した計画になっており、指導事項を育成するための言語活動であった。
- 今回選ばなかった「情報」についても問いかけるとさらに選んだことの『価値づけ』ができる。

成果と課題

- カルタ作りの活動を通して「必要な事柄」について学習し、交流することができた。
- 掲示物やモデルビデオが効果的であった。
- 前時の学習をさらに生かせるようなワークシートを作成し授業で活用できるようにする。